

福井県植物分布ノート (2)

一越前経ヶ岳山塊にみる福井県初記録の植物三題一

若 杉 孝 生

(1) ハクウンラン *Vexillabium Nakaianum* F.Maekawa (ラン科)

昨年9月始め頃であったか、小林博物館長からラン科植物の一つの標本を示された。ラベルにはオオハクウンランとあり、採集者は奥越青少年の家の松田秀次氏である。ハクウンランは本県では未記録のもので大変興味深く、さっそく松田氏にご無理を願って案内していただくことになった。この山塊には一度行ってみたいと思っていたところでもあるので、期待するところ大なるものがあった。松田氏の話によれば、このハクウンランはおおよそ標高1000 mばかりのブナ林近くに生育しているということであったが、筆者が行ったときには、すでに標高600 mぐらいの尾根筋の林床に散見され始めた。花期は終わっており、小さな果がついている。高さ10 cm径1 mmほどの細い茎が林床の落葉のなかから立ち上って、その先に長さ5 mm巾2 mmぐらいの卵形の小さな果をつけているだけであるからなかなかみつけにくい。長さ8 mmほどの小さな卵円形の葉は、茎の基部の方に集って2~3枚互生している。茎や果には白い毛が密に生えており、花をつけない株は茎が短く、上部の方に葉がかたまっ

てついている。ハクウンランは目的地のブナ林までに点々と散生しており、個体数はかなりあると思われるが、それ程多くはない。さきの標本でみると、白色の唇弁の脛部は横に長い四角形で長さおよそ3 mm、巾およそ5 mmで、先は浅く2裂している。このハクウンラン *V. Nakaianum*には種内の変異があって、かく片の癒合の程度やその他の点で、東北地方のものにはムライラン *V. boreale* F.Maekawa 三重県のものにはイセラン *V. inamii* Ohwiの名があったが、前川文夫著〈原色日本のラン〉では上記ハクウンランに統一されている。なお、参考までに、北村・村田・小山共著〈原色日本植物図鑑 下〉では、ハクウンランを朝鮮産だけに限定し、伊豆七島に産するオオハクウンラン *V. fissum* F.Maekawa に本州産(イセランを除く)及び九州産のものを含めてあり、大井次三郎著〈日本植物誌〉では、ハクウンラン *V. Nakaianum*、オオハクウンラン *V. fissum*、イセラン *V. inamii* を屋久島産のヤクシマヒメアリドオシラン *V. yakushimense* (Yamamoto) F.Maekawa に含めてある。

このハクウンランの確認は本県でも初めてであるが、中部日本海側でも最初のものである。

(2) ミヤマツチトリモチ *Balanophora nipponica* Makino (ツチトリモチ科)

ミヤマツチトリモチは福井県の周辺では、白山及び岐阜県の一部に確認されているが、筆者はかねがね本県にも自生しているのではないかと期待していたものの一つであった。それが偶然にも前記ハクウンランの調査のさい、同行の松田氏が見つけられたものである。ミヤ

マツチトリモチは寄主や産地によって色の違いが大きいようであるが、この地のものは全体が汚褐色で個体数は極めて少い。タンナサワフタギ、マルバマンサク、コミネカエデなどの落葉樹の林床にみられ、寄主をたしかめようとしたが根が入り乱れて、確認するためにはかなり掘り起こさねばならず、また時間の余裕もなかったため、現状保存を第一と考え、次の機会をまつことにした。ツチトリモチ属は熱帯・亜熱帯に多く、本州では近畿以南にツチトリモチが、中部・北部にはミヤマツチトリモチが分布している。これで本県の植物に1属1科がふえたことになる。



(*Balanophora nipponica*
1976.9.15 写す)

(3) シャクジョウソウ *Monotropa hypopithys* L. var. *japonica* Franch et Sav.
(イチヤクソウ科)

同じ科のギンリョウソウやアキノギンリョウソウはよくみかけるが、シャクジョウソウは県内では少く、これが初記録であろう。日本では北海道、本州、四国、九州に分布する。全体が黄色をおび、アキノギンリョウソウとはよく対照的で、ここでもブナ林の林床にアキノギンリョウソウやヒメカンアオイとともに生育が認められた。

〈付 記〉

上記3種はいずれも1976年9月15日所見のものです。

ハクウンラン及びミヤマツチトリモチについては、前川文夫博士に同定をわずらわしました。記して感謝の意を表します。

なお産地については、植物保護の立場から具体的な表示をさげました。意のあるところ諒とされたい。

参考文献

- 前川 文夫 原色日本のラン (1971)
 前川 文夫 日本固有の植物11 ハクウンラン (1976)
 正宗厳敬・里見信生 日本産蘭科植物分布図(五十五) (1975)
 北村二郎・村田源他 原色日本植物図鑑 (1957~1964)
 大井次三郎 日本植物誌 (1975)
 奥山 春季 原色日本野外植物図譜 (1964~1966)
 牧野富太郎 新日本植物図鑑 (1961)